

コンセプト 「通信制だからこそ、理想の自分になれた」と胸を張って言える学校生活を。
すべての出会いを大切に、ともに成長し合えるような人材を育てる。

生徒の現状

- 多様な背景をもって転編入学する生徒が多い。
- 学校以外の活動に積極的に取り組みたいと考えている生徒も多い。

新宿山吹高校 通信制ならではの教育環境

- ・学校生活の縛りが少なく、周りに急かされることもなく自分と向き合う時間がたくさんある。
- ・単位制&電子レポート中心のおかげで、学びたい内容を、時間や場所を問わずに学べる。
- ・自分を最大限に理解してくれる教員が支えてくれる中で、自己成長に向き合える。

理想に向けた必須要素

- ・自己のキャリア観の構築
(+追求時に充実感を覚えることを見つける)
- ・自己の言語化&自己成長方法の理解
- ・自己と世の中へ向けた批判的思考力の習得
- ・日常や社会に結びついた知識・技能と見方・考え方

卒業時の理想像

- ◎生きがいと自己成長の道を発見している
自分の生きがいを見出し、そこに向けた成長に努めることができる。
- ◎自己をわかってもらう力がある
自分の特性と向き合う力が備わっており、自分の活かし方をわかっている。
- ◎他者の評価や常識にまどわされない
自己の内外に批判的思考を働かせて、自分なりの納得解を見出すことができる。
- ◎実践力重視の学びの姿勢が身についている
学んだ知識・技能や見方・考え方をもってして、日常生活や社会生活の中で実践的に思考力・判断力・表現力を発揮することができる。

具体的な教育の内容と方法（すべて ICT 活用）

①「ポートフォリオ（キャリアパスポート）」と「担任によるコーチング」と「学校・自己評価アンケート」の共同設計による自己理解・自己実現教育

→どう成長したいのか、何を頑張って身につけるのか、山吹で何を努力するのかを担任と話し合いながら成長&記録。振り返り時には自分と学校の両方を。

②個人の価値観重視のキャリア観醸成を目的とした（卒業後進路に執着しない）キャリア教育

→自分が「好きなこと・得意なこと」を「社会が必要としていること・生計が立てられること」にどう転換させるかを考え、追求時に充実感を覚えることを見つける。

③批判的思考力と観点概念判断力と論理的表現力&情緒的表現力を育成するレポート問題+実生活逆向き設計の設問のレポート問題+意欲に応じた追加課題レポート

→教育内容を卒業後の実践力を重視したものに厳選したうえで、観点別評価に沿う形で多面的に生徒を評価・育成していく。

④プロジェクトベースの部活動・特別活動と資格取得支援

→資格を取得したり、校内文化祭や校外コンテストに向けて個人・チームで取り組んだりすることで、在学中に成果を挙げて自己有用感を最高値に高める。

グランドデザインに基づいたループリック

	C	B	A	必要となるものと対象領域
知識・技能	教科の基礎的知識・技能を身につけることができる。	日常生活や社会生活において使い所を見出すことができる。	知識・技能を活用し、実践的な課題に取り組むことができる。	○教科の基礎基本の知識・技能 ○日常や社会に関わる学際的な知識・技能
思考力	他者のさまざまな見方・考え方に触れながら、自分の考えを振り返ることができる。	自分の考え方や世間の常識に批判的な視点を向けることができる。	さまざまな見方・考え方とその批判的な視点を踏まえて、自分なりの納得解を見出すことができる。	◎論理的思考力 ○根拠→意見 ○要素分解 ○言い換え・置き換え ◎批判的思考力 ○前提への批判○考え方の批判○視点・観点への批判
判断力	視点・観点・基準などを意識しながら、事象・事物に着目することができる。	根拠に基づいて自分なりに事象・事物を判断し、分析・解釈することができる。	多様な物の見方・考え方から見出す根拠に基づいて、事象・事物を判断することができる。	○物事を捉える視点と概念的観点 ○構成要素を考える観点 ○分岐点や閾値や重み付けなどの数量的基準
表現力	正確な記述・説明の方法を学び、他者に何かしらの伝達手段で発信することができる。	論理的に理解させる表現法と情緒的に感じ取らせる表現法を身につけることができる。	受け手に対して、自分の考えをわかりやすく表現し、正確に伝えることができる。	○事物・事象の客観的な記述 ○論理的な表現 ○情緒的な表現
学びに向かう力、人間性	・レポートを提出し、試験を受験できる。 ・実生活に目を向けて、事象・物事を考えることができる。 ・校内外の活動や資格取得に興味、関心をもつことができる。 ・自分の興味や関心を振り返ることができる。	・レポートを計画的に進め、学習し、試験の準備ができる。 ・実生活と教科の学びについて考えることができる。 ・校内外の活動や資格取得に向けて、計画を練ることができる。 ・興味や関心に基づき、仮説を立て、調べることができる。	・レポート、試験で学んだことを活用することができる。 ・実生活と教科の学びを結びつけ、活用することができる。 ・校内外の活動や資格取得に取り組み、成果が出せる。 ・調査結果を論理的にまとめ、得られた結果を活用できる。	○レポート ○総合的な探究の時間 ○プロジェクトベースドの活動（部活動・特別活動） ○資格取得の機会（各教科＋進路・生活指導部）
キャリア観	・自分の価値観を振り返えられる。 ・将来の理想に目を向けられる。 ・理想を達成するためには、何が必要かを考えることができる。	・自分の価値観を整理できる。 ・将来の理想について具体的に考えることができる。 ・理想達成のために必要なことを整理できる。	・自分の価値観を言語化できる。 ・将来の理想に向けてプランニングできる。 ・理想達成のために努力できる。	○自己の言語化（担任、YSW、SC） ○ポートフォリオでの蓄積（担任） ○キャリア観醸成のための知識・情報力（進路・生活指導部）